助けあう心一つで献血を

7月は「愛の血液助け合い運動」月間です

新津市は、昨年九月、全国で初めて「愛の献血推進都市」を宣言しました。しかし、その後の献血状況は、必ずしも十分とはいえないようです。

献血は、誰でもできる人助けです。市民の皆さん一人ひとりの心で、大きな献血の輪を広げましょう。

献血は三つの方法から選べます

昭和六十一年四月から、四百ミリリットル献血と成分献血がスタートしました。現在の献血は、①二百ミリリットル献血、②四百ミリリットル献血、③成分献血、この三つの献血方法から選ぶことができます。

400ミリリットル献血でも安全です

私たちの体内の血液の量は、個人差はありますが、体重六十キログラムの男性では四千八百ミリリットル、体重五十キログラムの女性では三千五百ミリリットルの血液量となります。医学的には、体内の血液量の一五パーセント以内（男性七百二十ミリリットル、女性五百二十ミリリットル）が失われても身体上の問題はありません。ですから、四百ミリリットルの献血も日常生活や健康に差しさわりありません。

また、輸血が必要なとき、四百ミリリットル献血は、二百ミリリットル献血と較べ半分の人数で済むことになります。これは少人数の献血者の血液を輸血に用いることができるため、輸血による病気の感染や輸血副作用などを減らすことができます。

このように四百ミリリットル献血は、輸血の安全性を高める、うえでも重要です。

新津市の献血状況

当市における献血者数は、昭和六十一年からほぼ横ばいですが、二百ミリリットルに換算した実数では左上の表のように増加しています。特に四百ミリリットル献血は、平成元年度の献血者の四分の一を占め、かなり定着したようです。

献血された血液は有効に利用されます

昔は血液の全成分をそのまま輸血（全血輸血）することがほとんどでした。しかし、いまでは患者さんが必要とする成分だけを輸血（成分輸血）することが主として行われています。

献血された血液は、上の図のようにそのまま（全血製剤）、あるいは遠心分離して血液成分製剤として、さらに血漿から特別の蛋白を分画した血漿分画製剤として有効に活用されます。

図1　献血された血液のながれと用途

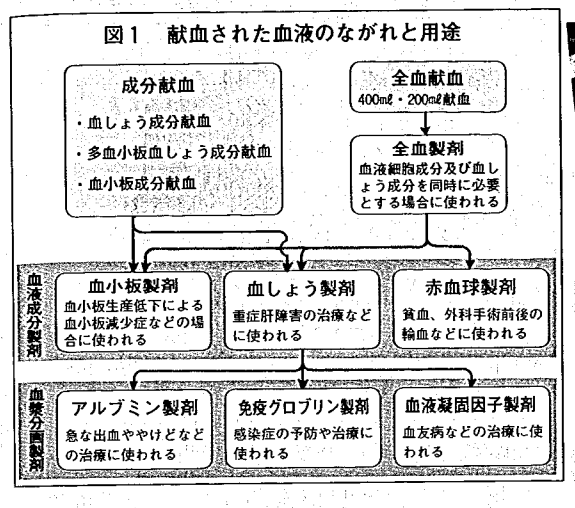
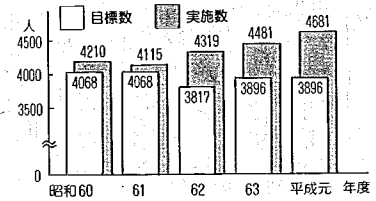


表1　献血の目標数と実施数



※人数は200mℓに換算した実数です。

ご協力に感謝します

平成元年度は、九月二十七日に「愛の献血推進都市」を宣言し、当市の献血状況も年間目標を上回ることができました。積極的にご協力くださった市民の皆さん、献血事業推進協議会および推進団体の皆さん、本当にありがとうございました。

お買物、ご用命は市内で

健康家族　薬なら新津薬局
保険調剤・漢方薬全処方
健康食品・ベビー・介護用品
新津駅前本店 ㉔6311
おぎかわ駅前店 ㉔6322

内科・小児科・レントゲン科
大坂医院
新町1丁目6―12　TEL㉔5122

成分献血は新しい時代の献血です

成分輸血が主流である現在、血液の有効利用のため、献血者から特定の成分だけを献血していただく必要性が高くなっています。

成分献血とは、簡単な装置を用いて、血液中の血漿や血小板だけを献血する新しい方法です。この場合、最も回復の遅い赤血球成分を献血者に返しますので、からだへの負担が軽く、一～二週間の間隔で献血できます。皆さんも、一度成分献血をしてみませんか。

◇成分献血が、七月二十三日（月）に市役所401会議室で実施されます。成分献血は一人一時間ほどかかりますので、予約制となります。申込みは、七月七日までに保健課（☎24―2111内線133）へ。

・実施時刻…午前10時、11時、午後1時、2時、3時

表2　献血率の推移（人口100人当たり）

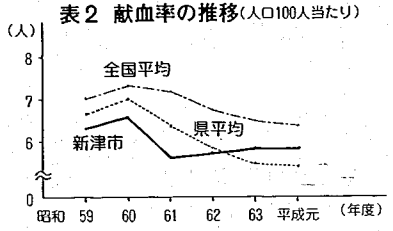
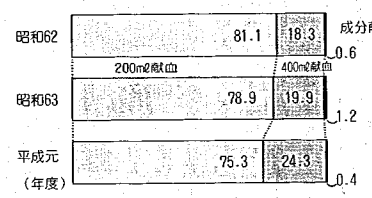


表3　献血者の割合



献血事業推進大会を開催

「愛の血液助け合い運動」の一つとして、新潟県献血事業推進大会が開催されます。

市民の皆さんの多数の参加をお待ちしています。

□とき…7月31日（火）の午後1時～3時
□ところ…新津第一小学校
□内容
・特別講演「血といのち～生きてるうちにできる献身～」…蒲原宏氏（元県立がんセンター副院長）
・アトラクション…秋葉太鼓
・献血パネル、ビデオ放映など。

このままでいいのか「買血大国」の汚名

わが国の場合、多くの方がたのご協力によって、一般輸血用血液である全血製剤と血液成分製剤については、すべてを献血でまかなえるようになってきました。しかし、血漿分画製剤については、その九〇パーセントを輸入に依存しています。世界の人口の三パーセントにすぎない日本で、全世界の使用量の三分の一～四分の一を消費しているといわれています。

新潟県も移入超過

新潟県の昭和六十三年度の献血率は、四十七都道府県の中で四十二番目でした。県外から移入した血液は、二百ミリリットル血液製剤に換算して千九百八十五本にもなります。

愛の献血都市の実現に向けて

三千七百五十六人、これは新津市の平成元年度の献血者数です。これだけ多くの思いやりにもかかわらず、当市の献血率は、残念ながら全国平均におよびません。

献血は、一人でもできる奉仕活動です。市民の皆さんの善意を生かして、新津市を、真に「愛の献血推進都市」として誇れるようなまちにしていきたいものです。

献血の日程

献血車「ゆうあい号」が次の日程で来市します。皆さんのご協力をお願いします。

□7月11日（水）の午前9時30分～正午と午後1時～3時30分…新津工業高校（東町1）
□7月13日（金）の午前9時30分～正午と午後1時～3時30分…新津高校（秋葉1）

平成元年度の献血功労者は23名、4団体

平成元年度（平成元年四月一日から平成二年三月三十一日まで）に献血回数が三十回、五十回、八十回を超えられた次の人たちが、献血功労者として表彰されていますので、ご紹介します（敬称略）。

◇80回以上の人（1名）
飯嶋道夫（秋葉1）
◇50回以上の人（4名）
立石健吾（南町）、長谷部信男（新町1）、中村廣（緑町）、中野優子（金津）
◇30回以上の人（18名）
関川智明（田家3）、江川孝生（中野3）、井越智恵子（北潟）、呉井千鶴（本町2）、坂井敏光（大鹿）、石井克己（田家1）、熊倉嘉寛（飯柳）、加藤恒裕（北上2）、木了利雄（結）、多田重孝（北上1）、新田聡（中野1）、金澤昭宣（秋葉2）、長井信夫（市之瀬）、熊木操（程島）、木了孝夫（山谷町1）、松本孝一（車場3）、小林滝子（滝谷町）、丸山健一（こがね町）

なお、平成元年度献血功労の感謝状が次の四団体に贈られました（敬称略）。

◇厚生大臣感謝状：新津高等学校
◇知事感謝状：白佑電子（株）
◇銀色有功賞…JR新津車両所、立正佼成会新津教会

お買物、ご用命は市内で

これなら安心　サービス特典付　4年以内の裏返し一部屋につき1枚無料
畳に保証書がつきました！
新津畳協同組合加盟店より畳をご購入頂きますと、アフターサービス、安心保証をお約束する、保証書を発行致します。
●但し新畳10,000円以上、表替6,000円以上の畳に限らせて頂きます。
お問い合わせは
新津畳協同組合
☎22-7923
又はお近くの畳店へどうぞ